

古い町並高山の魅力と飛騨匠の文化にふれる持続 可能なまちづくりと集客に関する研究

～ SDGs未来都市の形成のための地域活性化と価値創造の方策～

2023年12月17日

東京都市大学 都市生活学部
教授 川口和英

1.研究目的

- 高山市および飛騨高山エリアとその周辺地域は新型コロナ禍（2020～2022）のもと観光地としてダメージを受けたが、withコロナの時代にいたり、持続可能な地域づくりと、魅力を広く周知し、改めて該当エリアの集客機能など活性化プログラムの検討が必要である。
- 本調査研究では、同地域の魅力を改めて分析し、古い町並高山の魅力と飛騨匠の文化にふれる**持続可能なまちづくりと集客に関する観点**から、**将来の地域活性化に繋がる方策**を検討することを目的とする。
- 「SDGs未来都市」の理念に沿った**基本的・総合的**取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境**の**三側面**の**統合的**取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、**持続可能な開発**を実現するポテンシャルが高い都市・地域ができるかについて検討する。
- 調査にあたっては、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）未来都市をターゲットとして、古い町並み高山の魅力と美しい自然あふれる環境、飛騨匠の文化にふれる**集客機能**のありかたを分析する。

調査・研究方法

- **SDGs未来都市**の位置づけと、高山市におけるSDGs未来都市の視点の分析
- 1)全国のSDGs未来都市のなかの経済、社会、環境に関するKPIの検討。
- 2)持続可能な開発目標SDGsの観点から、SDGコンパスにもとづき、飛騨高山エリアの地域活性化方策の分析整理し、モデル事業の検討。
- 3)簡易経済効果測定モデルを構築する
- 4)施設効果の測定条件の設定および効果測定
- 5)SDGs未来都市に掲げられる一部の計画および前提条件によるSDGs未来都市による施設効果を測定する。
- 持続可能な開発目標SDGsの観点から、SDGコンパスにもとづき、飛騨高山エリアの地域活性化方策を検討する。

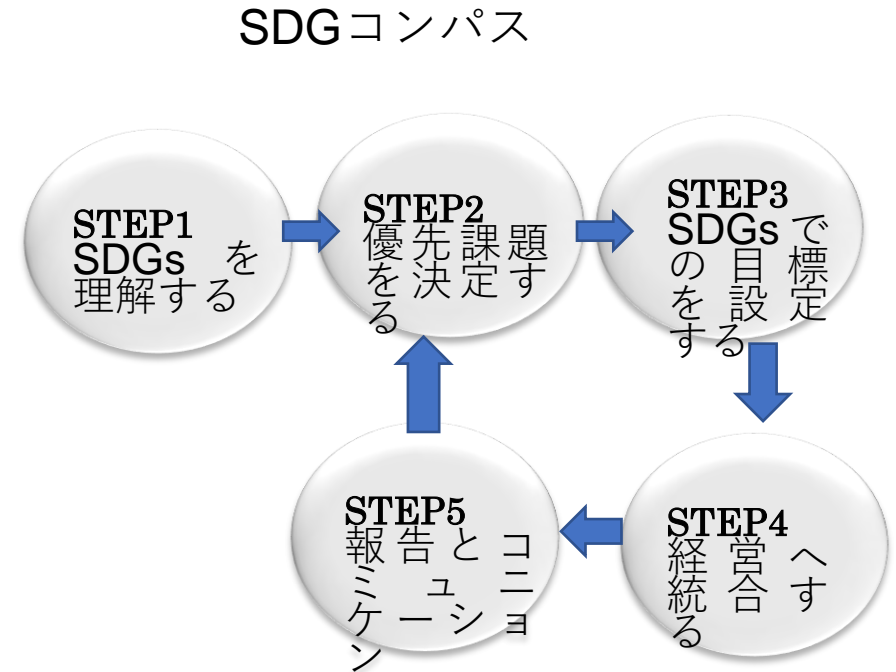


図 SDGコンパス

- また研究を進めるにあたっては、SDGコンパスにより、STEP1、STEP2から、STEP3に至るまで、の具体的方策、さらにSTEP4にむけて対応していくための方策について検討する。

2.SDGs未来都市からの視点

- SDGs未来都市
- SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、**経済・社会・環境**の三側面の統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を選定
- 高山市は、2021年に**SDGs未来都市**に指定。(同年31都市指定)：**世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現**

(内閣府が2018年度よりSDGsの達成に向けた取組を積極的に進める自治体を公募、新たな価値を創造する提案を行った自治体を認定する制度)

- 自治体SDGsモデル事業
- SDGs未来都市の中で実施予定の**先導的な取組として選定**されるもの。地方公共団体によるSDGsの基本的・総合的取組の中でも特に注力的に実施する事業であり、SDGsの理念に沿った統合的取組により、**経済・社会・環境**の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い**先導的な取組**であって、多様なステークホルダーとの連携を通し、地域における**自律的好循環の形成**が見込める事業を指す。

モデルの全体構成と構築(1)

・SDGs未来都市事業の導入による地域波及の分析

モデルの全体構成と構築

集客機能による地域への経済波及効果などを測定する手法として**事業効果**と**施設効果**の考え方により検討される。今回の測定では建設事業は含まれず、施設効果をベースとして計算を行う。効果測定モデルでは2015年岐阜県産業連関表データとして公表されている最新データを用い作成する。全体構成と各主体の関係は図 集客施設の整備効果測定モデルのフローに示される。

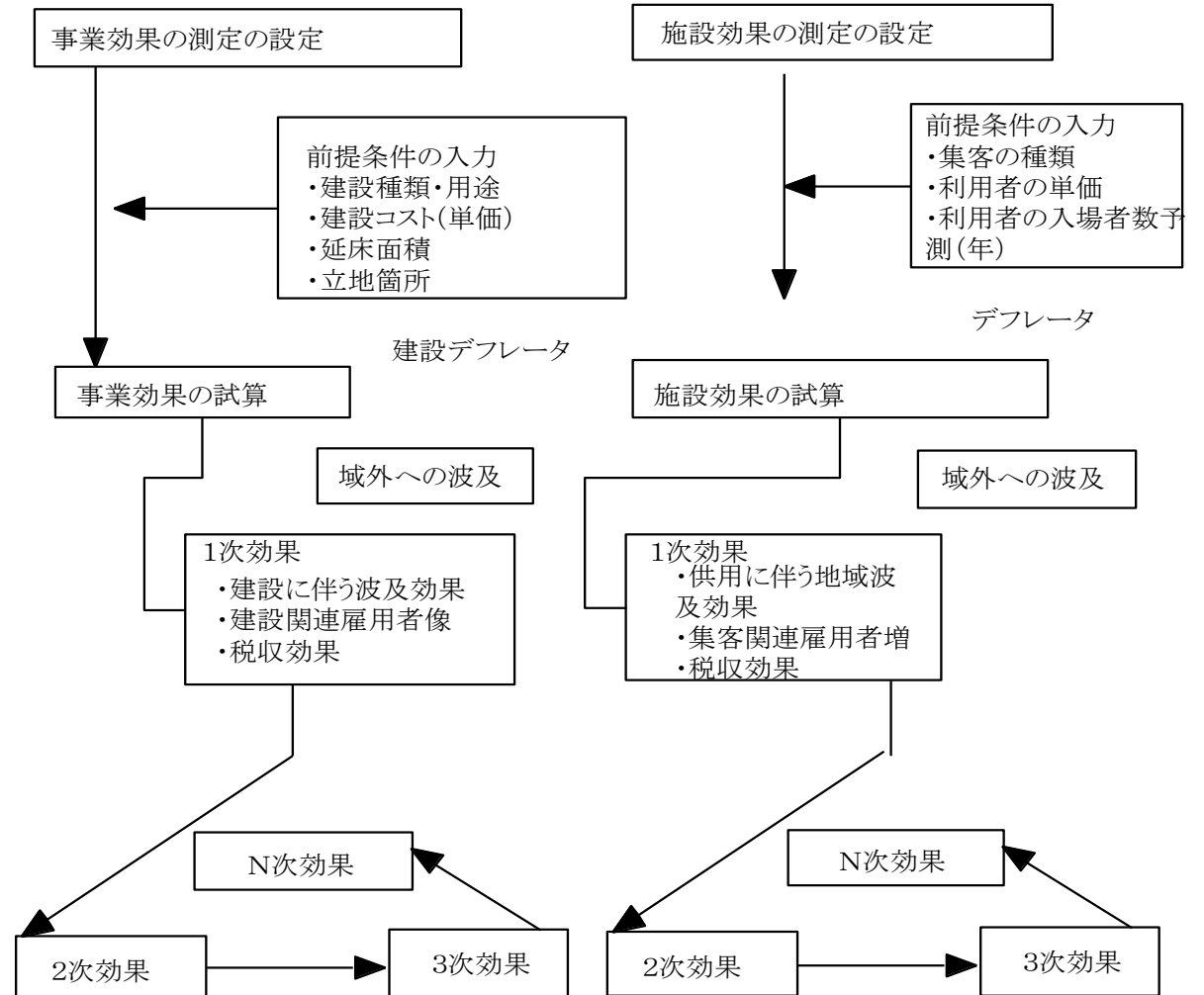


図 集客施設の整備効果測定モデルのフロー

モデルの全体構成と構築(2)

経済効果の測定方法として、応用一般均衡モデル (Computable Equilibrium Model) と産業連関モデル (Input Output Model) がある。応用一般均衡モデル作成にむけ、家計制約下での効用最大化をめざし企業活動では生産技術制約下での費用最小化を図る前提とする。(今回の測定段階では産業連関分析表ベースにてモデル化)

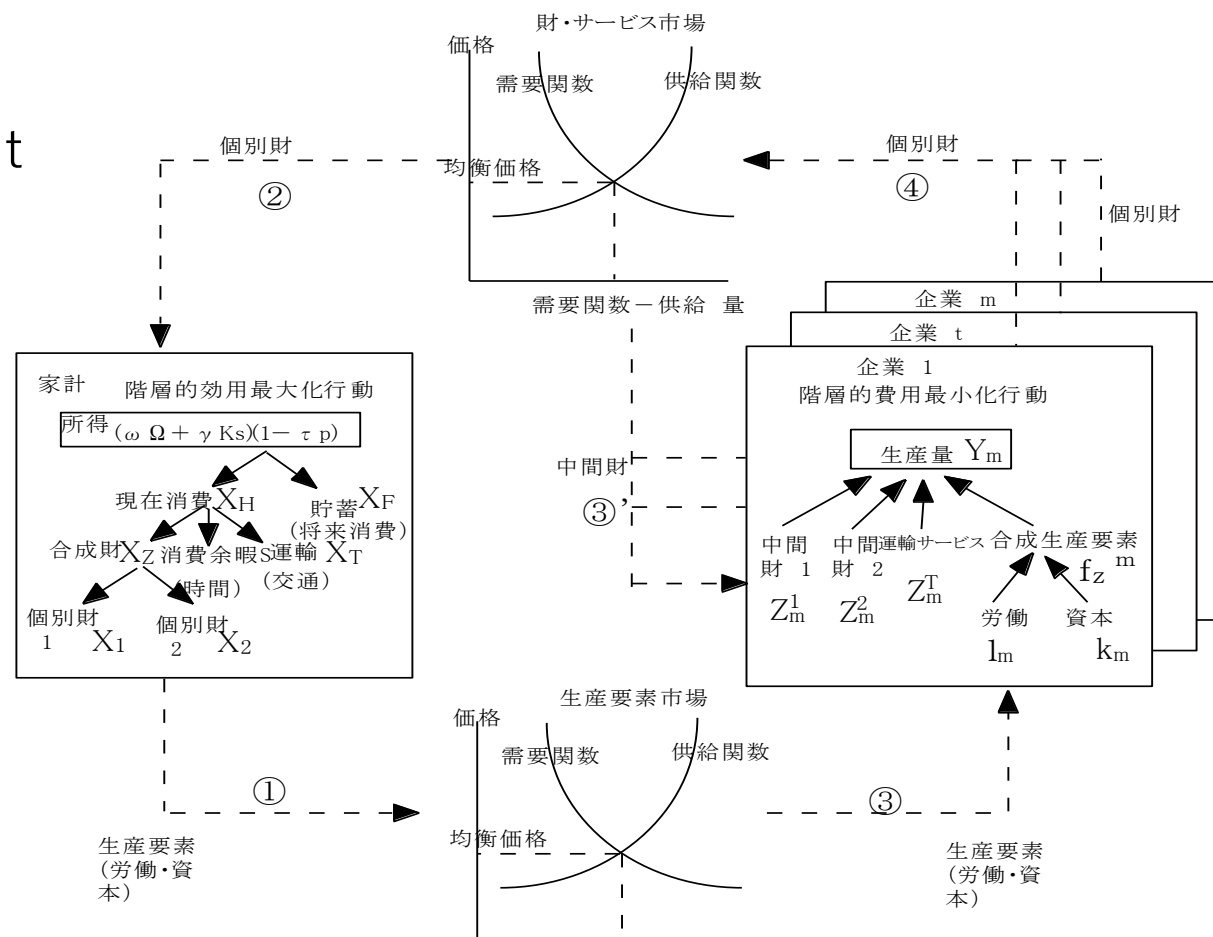


図 一般均衡モデルの全体構成

「SDGs 未来都市」指定都市 (2018~2023)

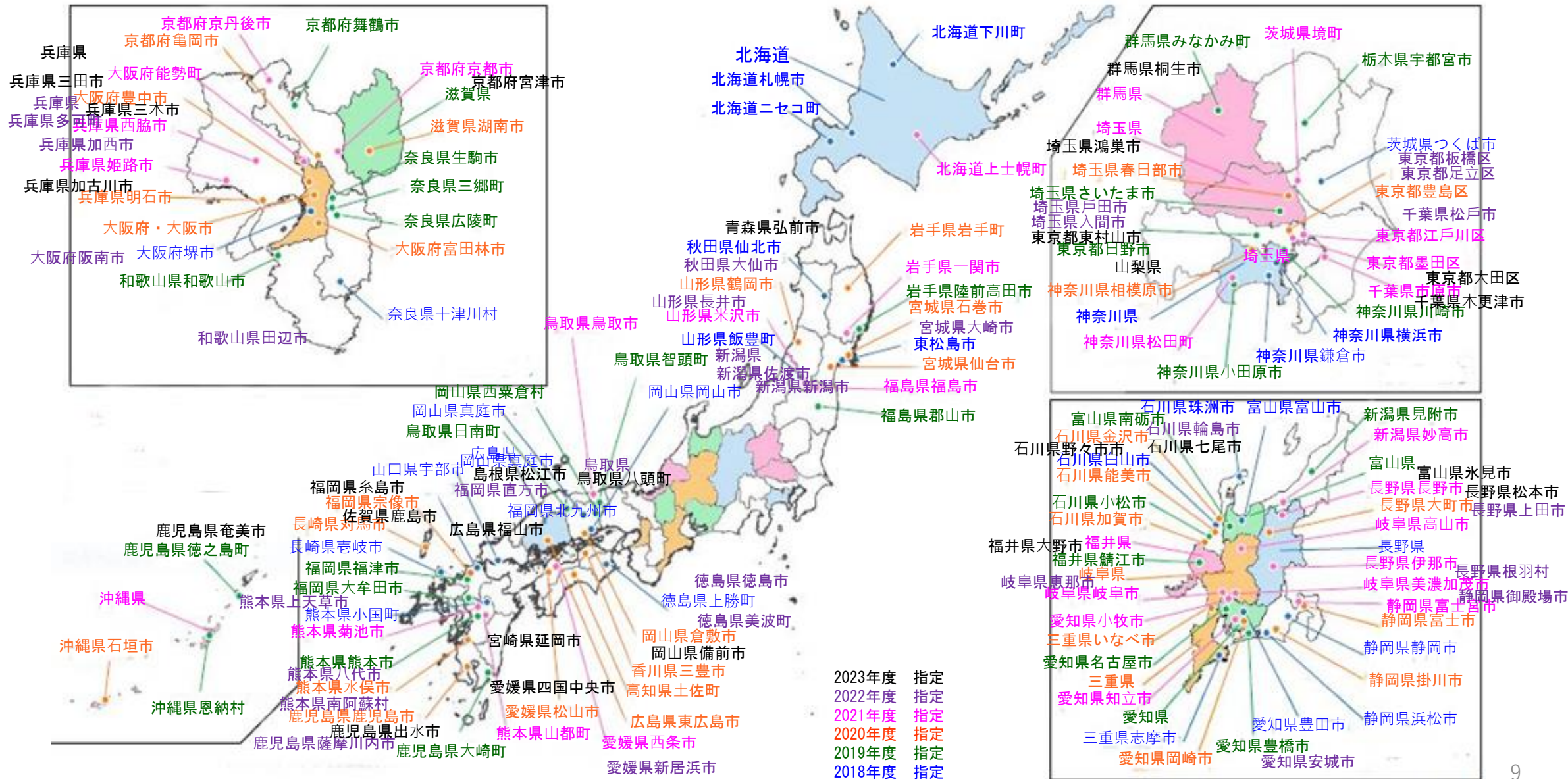
2018年選定 (全29都市)		2019年選定 (全31都市)		2020年選定 (全33都市)		2021年選定 (全31都市)		2022年選定 (全30都市)		2023年選定 (全28都)	
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
北海道	★北海道	岩手県	陸前高田市	岩手県	岩手町	北海道	上士幌町	宮城県	大崎市	青森県	弘前市
	札幌市	福島県	郡山市	宮城県	仙台市	岩手県	一関市	秋田県	大仙市	群馬県	桐生市
	二セコ町	栃木県	宇都宮市		石巻市	山形県	米沢市	山形県	長井市	埼玉県	鴻巣市
	下川町	群馬県	みなかみ町	山形県	鶴岡市	福島県	福島市	埼玉県	戸田市		深谷市
宮城県	東松島市	埼玉県	さいたま市	埼玉県	春日部市	茨城県	境町		入間市	千葉県	木更津市
秋田県	仙北市	東京都	日野市	東京都	豊島区	群馬県	★群馬県	千葉県	松戸市	東京都	大田区
山形県	飯豊町	神奈川県	川崎市	神奈川県	相模原市	埼玉県	★埼玉県	東京都	板橋区		東村山市
茨城県	つくば市		小田原市	石川県	金沢市	千葉県	市原市		足立区	富山県	氷見市
神奈川県	★神奈川県	新潟県	見附市		加賀市	東京都	墨田区	新潟県	★新潟県	石川県	七尾市
	横浜市	富山県	★富山県	長野県	能美市		江戸川区		新潟市		野々市市
	鎌倉市		南砺市	岐阜県	大町市	神奈川県	松田町	石川県	佐渡市	福井県	大野市
富山県	富山市	石川県	小松市	静岡県	★岐阜県	新潟県	妙高市	長野県	輪島市	山梨県	★山梨県
石川県	珠洲市	福井県	鯖江市		富士市	福井県	★福井県		上田市	長野県	松本市
	白山市	愛知県	★愛知県	愛知県	掛川市	長野県	長野市		根羽村	京都府	宮津市
長野県	★長野県		名古屋市	三重県	岡崎市		伊那市	岐阜県	恵那市	兵庫県	★兵庫県
静岡県	静岡市	滋賀県	★滋賀県		★三重県	岐阜県	岐阜市	静岡県	御殿場市		加古川市
	浜松市	京都府	舞鶴市	滋賀県	いなべ市		高山市	愛知県	安城市		三木市
愛知県	豊田市	奈良県	生駒市	京都府	湖南市	静岡県	美濃加茂市	大阪府	阪南市		三田市
三重県	志摩市		三郷町	大阪府	亀岡市	愛知県	富士宮市	兵庫県	加西市	鳥取県	八頭町
大阪府	堺市		広陵町		★大阪府・大阪市		小牧市		多可町	島根県	松江市
奈良県	十津川村				豊中市		知立市	和歌山県	田辺市	岡山県	備前市
岡山県	岡山市	和歌山県	和歌山市		富田林市		京都市	鳥取県	★鳥取県	広島県	福山市
	真庭市	鳥取県	智頭町	兵庫県	明石市		京丹後市	徳島県	徳島市	愛媛県	四国中央市
広島県	★広島県		日南町	岡山県	倉敷市		能勢町		美波町	福岡県	糸島市
山口県	宇部市	岡山県	西粟倉村	広島県	東広島市		姫路市	愛媛県	新居浜市	佐賀県	鹿島市
徳島県	上勝町	福岡県	大牟田市	香川県	三豊市		西脇市	福岡県	直方市	宮崎県	延岡市
福岡県	北九州市		福津市	愛媛県	松山市		鳥取市	熊本県	八代市	鹿児島	出水市
長崎県	壱岐市	熊本県	熊本市	高知県	土佐町		西条市		上天草市		奄美市
熊本県	小国町	鹿児島県	大崎町	福岡県	宗像市		菊池市		南阿蘇村		
			徳之島町	長崎県	対馬市		山都町	鹿児島県	薩摩川内市		
		沖縄県	恩納村	熊本県	水俣市		★沖縄県				
				鹿児島県	鹿児島市						
				沖縄県	石垣市						

累計
SDGs未来都市182都市 (183自治体)
自治体SDGsモデル事業60都市

累計

SDGs未来都市182都市(183自治体)

自治体SDGsモデル事業60都市



図「SDGs未来都市」指定都市(2018~2023)

高山市の自治体SDGsモデル事業における検討概要



経済

- 観光まちづくりの推進
 - ・ 奥飛騨温泉郷エリアの活性化
 - ・ 民俗文化に親しむ観光拠点の整備
- 飛騨高山ブランドの強化
 - ・ メイド・バイ飛騨高山認証制度
 - ・ プロモーション推進体制の構築
- 地域循環型経済の構築
 - ・ 地域経済構造分析の活用
 - ・ 地産地消の推進

社会

- 歴史・伝統の保存、継承
 - ・ 歴史的な町並みの保存
 - ・ 飛騨匠の技術・精神の継承
- 夢と誇りが持てる社会の構築
 - ・ 若者の交流の場の創出
 - ・ 子どもの夢や創造力を伸ばす学習機会の提供
- ともに支えあうしくみの構築
 - ・ 協働のまちづくりの推進
 - ・ 飛騨高山ファンとの連携強化

環境

- 脱炭素社会の早期実現
 - ・ 地域に根差した自然エネルギー活用
 - ・ 環境基準が国内トップレベルのごみ焼却処理施設整備
- 100年先の森林づくり
 - ・ 森林の多面的利用の推進（防災強化など）
 - ・ カーボンオフセットによる森林整備
- 山岳資源を活かした地域活性化
 - ・ 中部山岳国立公園の利用促進
 - ・ 自然との共生モデル（五色ヶ原の森）の構築



観光客数推移

- 緊急事態宣言2020年（4月）以降、3月、4月、5月と飛騨地域への宿泊客数について、前年同月比で分析。（V-RESAS）
- 5月には-99%、最も観光客が減少した状況。
- 7,8,9月と漸増、依然、観光産業にとって厳しい状況は継続。
- 11月に入り、第3波の到来
- 来訪者の減少が続き、地域の活力が低下、地域住民と行政の連携による自然環境や景観の保全困難が懸念。
- 2022年以降の国際観光客の回復、SDGs未来都市の概念と調和した、持続可能な集客の検討の必要性。

延べ宿泊者数（総数）の推移

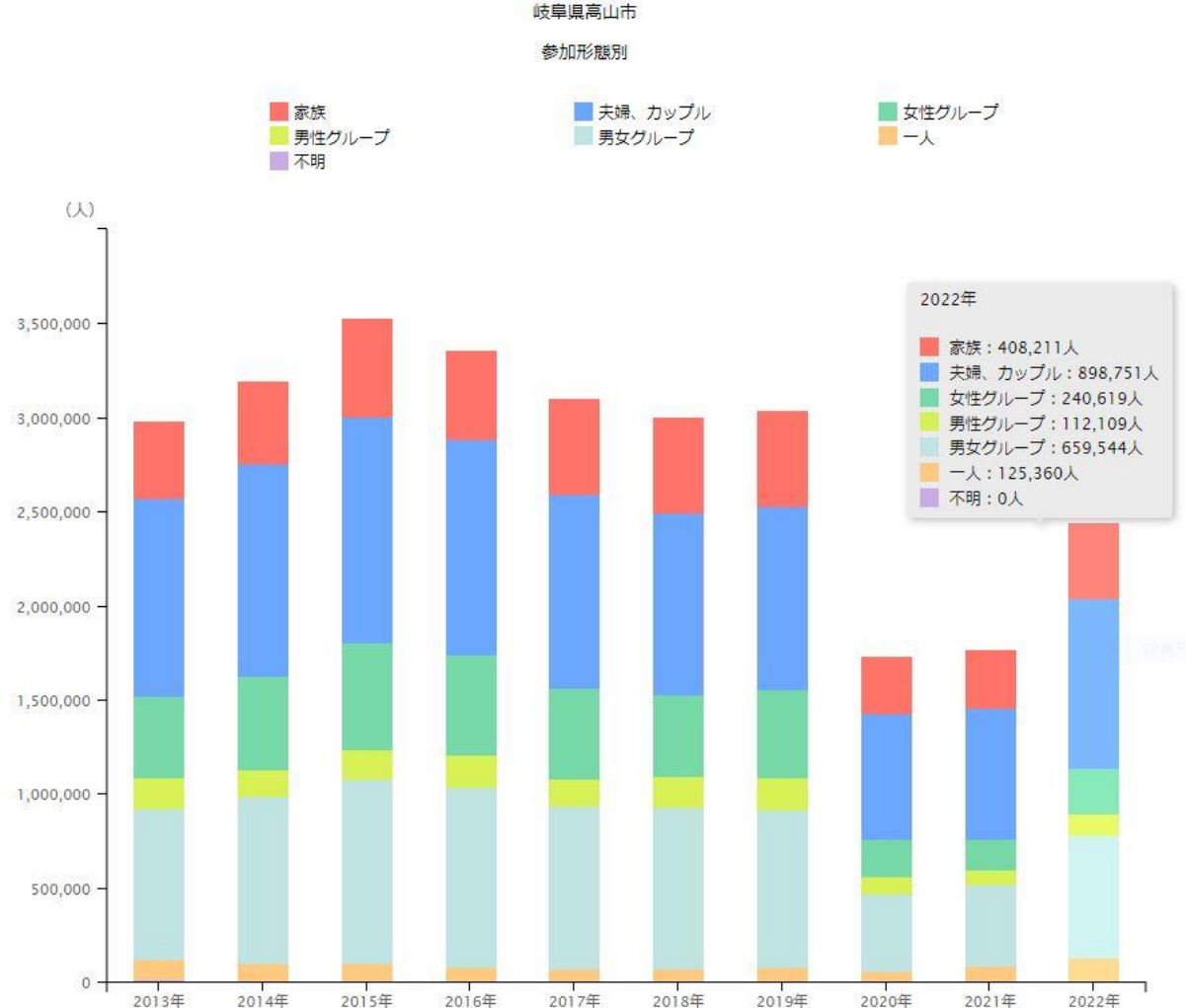


図 新型コロナによる宿泊への影響（V-REASAS.2022.）

高山市の地域循環型経済の構築について

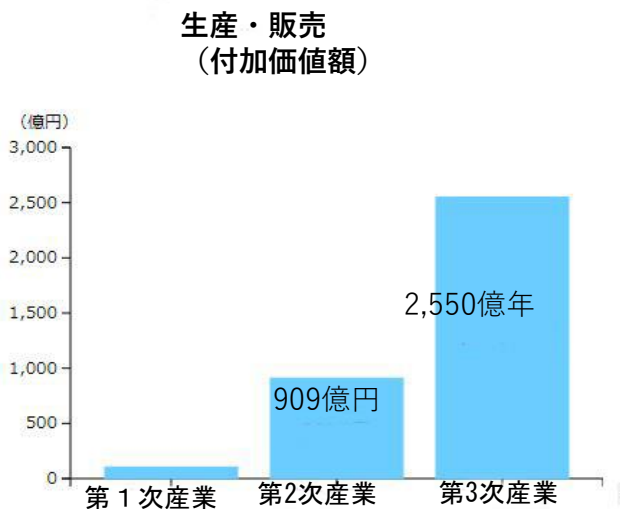
地域経済循環図 2018年
岐阜県高山市 単位（億円）

地域経済循環率
92.4%

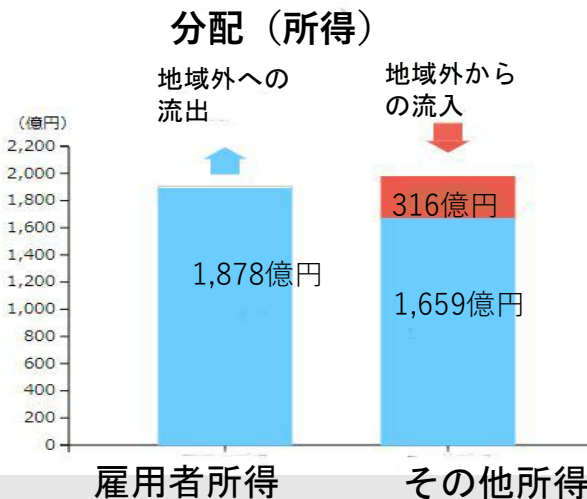
「地域経済循環率」＝生産（付加価値額）／分配（所得）：地域経済の自立度を示す。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）

所得への分配 3,560

社会



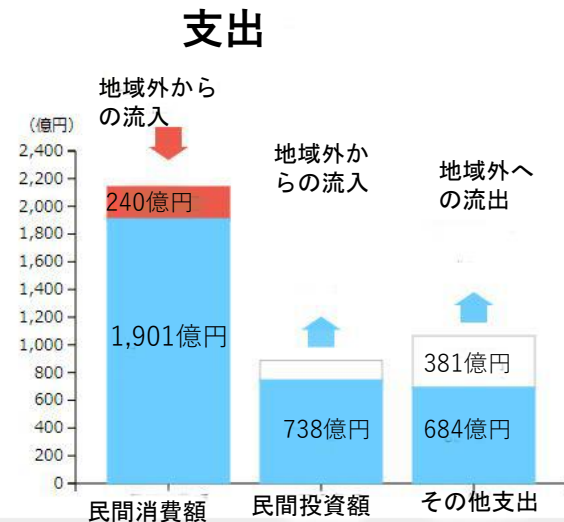
・「生産（付加価値額）」：地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額を把握できる。



・「分配（所得）」：地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたかを把握。雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「其他所得」で構成。

支出による生産への還流 3,563

支出 3,854



・「支出」：地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたかを把握。住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移出入収支額等を示す「其他支出」で構成。

経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い先導的な取組であって、多様なステークホルダーとの連携を通して、地域における自律的好循環の形成が構築される必要あり。高山市の地域循環率は、地方都市としては、92.4%と高水準。

高山市の経済、社会、環境の各側面の相乗効果



経済

- 経済**
- 観光まちづくりの推進
 - 飛騨高山ブランドの強化
 - 地域循環型経済の構築

環境保全を意識した経済活動による環境負荷の軽減

(経済→環境)

KPI(環境面における相乗効果等)	
指標：事業系ごみ(一般廃棄物)の排出量	
現在(2019年)	(2024年)
9,770t/年	9,121t/年

自然・環境資源を活かした産業の活性化



(環境→経済)

KPI(経済面における相乗効果等)	
指標：再来訪の意向	
現在(2018年)	(2024年)
97.2%	98.0%
指標：教育旅行入込数	
現在(2018年)	(2024年)
82,542人	100,000人

産業の活性化による担い手・関係人口の増加



歴史・文化資源を活かした産業の活性化

三側面をつなぐ統合的取組
持続可能な都市経営「SDGs未来都市」の創造

- ①飛騨高山プロモーションの展開
- ②交流拠点エリアの形成

- ③SDGsの積極的展開(SDGs宣言等)

国内外の多様なステークホルダーの関わりを深める
市民一人ひとりのSDGsの意識を醸成する
持三側面のつながりを深め、相乗効果を高める

環境

- 脱炭素社会の早期実現
- 100年先の森林づくり
- 山岳資源を活かした地域活性化

(環境→社会)

KPI(社会面における相乗効果等)	
指標：高山市に対し誇りや愛着を感じている市民の割合	
現在(2019年)	(2024年)
84.4%	84.4%

社会

- 社会**
- 歴史・伝統の保存、継承
 - 夢と誇りが持てる社会の構築
 - ともに支えあうしくみの構築

(経済→社会)

KPI(経済面における相乗効果等)	
指標：人口の社会増減(転入数-転出数)	
現在(2018年)	(2024年)
△336人	△135人
指標：ふるさと納税による寄付額	
現在(2018年)	現在
350,001千円	1,600,000千円

(社会→経済)

KPI(経済面における相乗効果等)	
指標：再来訪の意向	
現在(2018年)	(2024年)
97.2%	98.0%
指標：教育旅行入込数	
現在(2018年)	現在
82,542人	100,000人

担い手育成・関係人口づくりによる環境保全活動の活発化

環境保全意識の高揚による誇りと愛着の醸成

(社会→環境)

KPI(環境面における相乗効果等)	
指標：特定外来生物防除活動参加数	
現在(2019年)	(2024年)
304人	1,600人
指標：緑を楽しむ日などに実施したイベント参加者数	
現在(2019年)	(2024年)
829人	10,000人

高山市におけるSDGs目標と、まちづくりのターゲット分析

- 上高地、槍・穂高連峰、奥飛騨温泉郷、乗鞍岳、高山市街地と、2030年をターゲットとした「環境」, 「社会」, 「経済」の観点
- それぞれの地域における様々な観光資源の位置づけ、それぞれの地域と活動の関係性について、地域エリアについて整理
- 未来都市としてのSDGs目標の価値創造について検討
- 1)観光まちづくりの推進、2)飛騨高山ブランドの強化、3)地域循環型経済の構築、4)歴史・伝統の保存、継承、5)夢と誇りが持てる社会の構築、6)ともに支えあうしくみの構築、7)脱炭素社会の早期実現、8)100年先の森林づくり、9)山岳資源を活かした地域活性化が、あげられている。
- このなかで、魅力ある1)自然体験（山岳景観、清流、高原、温泉）、2)古い町並の魅力のある市街地との連携、3)飛騨の匠の文化、木の技術、4)教育機能と地域の学び、5)豊かな特色ある文化形成と経済、6)多くの客層へのアピール方策等の観点について、分析する。



古い町並の魅力ある市街地と山岳地の連携 SDGs11.3住み続けられるまち



- 江戸時代の面影を残す古い町並（三町伝統的建造物群保存地区、下二之町大新町伝統的建造物群保存地区）
- 陣屋（高山陣屋）、国宝安国寺経蔵（国府）等多くの歴史的建造物。
- 高山三之町町並保全区域エリアなど美しい伝統的な町並、宮川朝市での朝のにぎわいや新鮮な野菜や、おみやげ、特産品などが並び
- 宮川の清々しい流れの音を聞きながら、みてまわる魅力等が。年間440万人の観光客を奥飛騨温泉エリアや上高地へ誘導していくための魅力の連続性、持続可能なアクセス性などの検討。
- 指標11.4：重要伝統的建造物群保存地区の数
- 現在（2019年）2カ所、2024年：3カ所
- 高山の古い町並：高山三之町町並保全区域等
- 荒川家住宅, 民藝ミュージアム, 田舎体験館
- 地元の魅力である町並みや工芸品作り体験

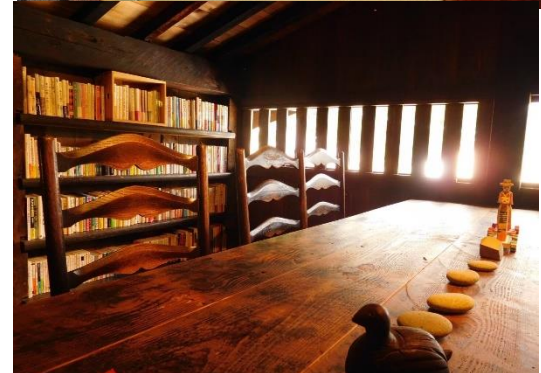


2.3	指標：観光客入込者数	
現在（2018年）	2024年	
230万人	500万人	
9.2	指標：外国人観光客入込者数(宿泊)	
現在（2018年）	2024年	
10万人	80万人	

SDGs12.b産業技術と基盤、雇用創出、文化振興



- 家具、建築などの匠の文化に触れることができる観光。デザインの利用・発信、宿泊施設などで実際に使った家具をオンラインで購入、木工体験家具作り等を活かす方策が考えられる。また世界を魅了する飛騨高山のブランドの深化を図る。



<現状等>

- ・観光客の激減 (2019年)473.3万人→(2020年)230.1万人
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による観光・旅行ニーズや環境の変化
- ・働く場としての高山市に魅力を感じていない市民の割合(2020年) 50.1%
- ・1人あたりの市内総生産 7,054千円(岐阜県内21市中17位)
- ・市際収支(2016年産業連関表) △100億円

SDGs6. 安全な水

SDGS6.6温泉の魅力



- 美しい清流としての河川、豊富な温泉資源など。日本一と言われ、露天風呂の数、を誇る温泉地である奥飛騨温泉郷は、宿泊者が徐々に減少している（78万人：H19から62万人：H27、57万人：H29）。
- 雄大な山岳景観、豊富な温泉等の観光資源の効果的な活用や旅行者形態の変化に応じた効果的な誘客施策を関係団体や事業者、地域住民と連携して進める。
- 誘客イベントの開催や温泉めぐり手形の発行、温泉熱利用の食の開発等の取組を行い、温泉利用を促進する。
- 奥飛騨温泉郷：平湯温泉（歴史伝統）・福地温泉（田舎・新平湯温泉（名水タルマ水））・栃尾温泉（蒲田川、高原川）・新穂高温泉（北アスブス登山口）
- ひらゆの森：パノラマ大浴場・福地；石動の湯・栃尾；荒神の湯・新穂高の湯・神宝乃湯
- 乗鞍山麓：五ノ池・亀が池、鶴が池、権現池
- 高山：宮川、丹生川

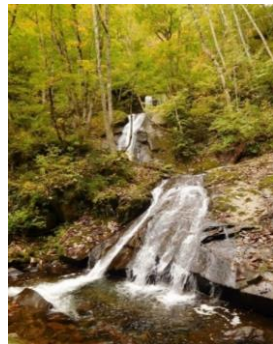


2.3 指標：奥飛騨温泉郷の宿泊数

現在（2018年）	2024年
60万人	70万人

8.2 指標：飛騨の里入場者数

現在（2018年）	2024年
15万人	29万人



SDGs 7.1 エネルギーをみんなに



- 地域の温泉、地熱発電や、小規模の水
力発電等を使用し、低炭素社会への貢
献、地域の地消型のエネルギーの確保、
教育的機能として活用する。
- 地域におけるエネルギーの循環
 - 地域主導のエネルギー会社を設立
 - 奥飛騨温泉郷：安房谷水力発電所 (657KW) 2020. 10地域の水力資
源を用いて地域活性化、国立公園の便益向上
 - 奥飛騨第1バイナリー発電所, 奥飛騨 (49.9KW) 2017. 11、第2バ
イナリー発電所 (250KW500世帯) 2020. 11温熱利用：地熱
資源により発電、利用した後の温水は地域へ給湯。発電事業の
収益の一部を源泉使用料として地域に還元、錦鯉の養殖ほか
 - 福地温泉 (福地温泉小水力発電所
 - 「宇津江四十八滝温泉しぶきの湯」小型バイオマス発電
(165KW) 2017. 4

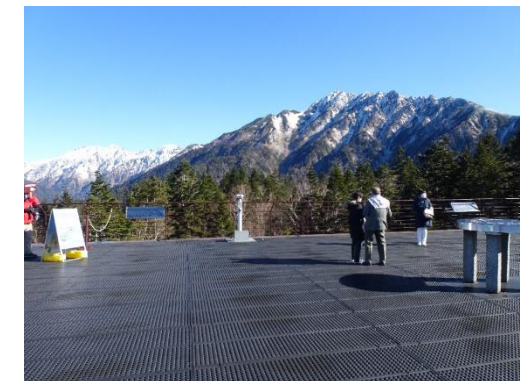


12.2	指標：二酸化炭素排出量※	
12.8	現在(2017年):	2030年:
13.3	69.4万t	51.3万t

12.2	指標：自然エネルギーによる電力の創出量(年間)※	
12.8	現在(2019年):	2024年:
13.3	45,597MWh	90,000MWh

SDGs9.1観光資源インフラの整備と有効利用

- 自然をアクティブに直接体感することのできる魅力要素。健康増進、自然体験のできるスポーツとしての機能を持つ。
- 観光資源として、標高2200mの眺望2階建て新穂高ロープウェイやスキー場は、気軽に自然の魅力にアプローチするためのインフラストラクチャー。
- 人工的なインフラ、都市基盤、施設の魅力への接続性としての役目。
- 新穂高ロープウェイ（第1, 第2）標高2200m
- スポーツ関連：乗鞍山麓, 大雪渓サマースキー場
- 平湯温泉スキー場, 新平湯温泉運動公園, ほおのき平スキー場
- 交通インフラ関連：乗鞍スカイライン、立山黒部アルペンルート、バス（濃飛バス平湯バス）・タクシー（ハトタクシー・濃飛タクシー）、乗鞍岳日本一高いバス停、日本一高い標高の道路
- 指標8.9：外国人観光客入込者数（宿泊）（年間）現在（2019年）：61.2万人、2024年：80万人



<現状等>
• 重要課題としての認識（2020年市民アンケート）
自然環境の保全8.1%（10位／20項目）
自然エネルギーへの転換3.2%（16位／20項目）
• 制服目標2050年までに温室効果ガス実質ゼロ
• 林業経営体の数（2015→2018年）△50.9%
• 市の森林面積200,531ha（市域の92.1%）

高山市における持続可能な「SDGs未来都市」構想と三側面（経済・社会・環境）との関連性

			4. 質の高い教育をみんなに	6. 安全な水	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任	15. 陸の豊かさも守ろう	17. パートナーシップで目標を達成しよう
Eco(経済)	組織活動 産業とインフラ 消費者課題 消費者課題	サステナビリティマネジメント	3. 地域循環型経済の構築 ・地域経済構造分析の活用 ・地産地消の推進		飛騨匠の技術の伝承		飛騨匠の技術の伝承			
		交通			8.2指標：雇用人あたりの雇用量 現在(2016年)：3,826千円 2024年：4,300千円		バス(濃飛バス平湯バス)・タクシー(ハトタクシー)・遊覧船(飛騨丸)・マナリメント		美しい町並、都市の魅力	
		従業員の健康・安全			8.2指標：雇用人あたりの雇用量 現在(2016年)：3,826千円 2024年：4,300千円		9.2外国人観光客入込者数(宿泊)(年間) 現在(2019年)：61.2万人 2024年：80万人		12.2, 12.8匠の家づくり支援事業による市産材使用量 現在(2018年)：1,875 m ³ 2029年：2,100 m ³	
		付加価値の高い生産活動	地域経済成長、雇用の創出		飛騨牛、ほうば焼き、高山ラーメン、奥飛騨の山菜		外国人観光客、インバウンド対応			
		外国人観光客・国際化	美しい川、水の魅力		5夢と誇りが持てる社会の構築 ・若者の交流の場の創出 ・子どもの夢や創造力を伸ばす学習 機会の提供		4歴史・伝統の保存、継承 ・歴史的な町並みの保存 ・飛騨匠の技術・精神の継承		6ともに支えあうしくみの構築 ・協働のまちづくりの推進 ・飛騨高山ファンとの連携強化	
		商品開発(名産・土産)								
Society(社会)	人権 コミュニティへの参画、発展	ごみ問題などの解決			2. 飛騨高山ブランドの強化 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度 ・プロモーション推進体制の構築					
		人権の尊重・ダイバーシティ								
		人事・福利厚生・従業員の健康・安全・人材育成								
		地域行政施策との連携強化	地域の魅力の発信 ・観光 ・教育		新平湯温泉：たるまかねごおりたいとアップ・大滝結水まつり		住みつづけるまちづくりの伝承		地域の祭り・イベントの魅力	
		祭・イベント							奥飛騨温泉郷：雪のコンテスト 裾野温泉：冬のイルミネーション	
		街づくり、地域活動、地域社	飛騨山脈ジオパーク構想(奥飛騨温泉上田村麻呂将軍・円空上人)		自然をできるキャンプ体験に加工グランピング		高山の古い町並み 高山三之町町並保全区域		飛騨山脈ジオパーク構想(奥飛騨温泉)	
Env(環境)	大気 高原・樹木 水 エネルギー 陸の大切さ 産業とインフラ	気候変動	奥飛騨温泉満点の星空 乗鞍山麓 星空観察会		1観光まちづくりの推進 ・奥飛騨温泉郷エリアの活性化 ・民俗文化に親しむ観光拠点の整備		9山岳資源を活かした地域活性化 ・中部山岳国立公園の利用促進 ・自然との共生モデル(五色ヶ原の森)の構築			
		大樹汚染の防止	山麓 東大衆教宇宙船観測所 自然科学研究機構乗鞍観測所		清流釣り					
		美しい星空			奥飛騨温泉郷 平湯温泉(歴史伝統)・福地温泉(田舎・新平湯温泉、振屋温泉・新平湯温泉)					
		清流の活用と保全・水の監視 温泉(露天風呂)								
		温泉								
		省エネルギー、低炭素社会	山岳 山岳景観の保全・育成 スポーツ		7脱炭素社会の早期実現 ・地域に根差した自然エネルギー活用		世界遺産白川郷 槍ヶ岳・双六岳・笠ヶ岳・奥穂高・西穂高(剣ヶ峰3026m)・扇王岳・富士新瀧高ロープウェイ(第1,2号)運具		丹生川：飛騨大鍾乳洞	
環境	水 エネルギー 陸の大切さ 産業とインフラ	大樹汚染の防止	山麓 東大衆教宇宙船観測所 自然科学研究機構乗鞍観測所		清流釣り					
		美しい星空			奥飛騨温泉郷 平湯温泉(歴史伝統)・福地温泉(田舎・新平湯温泉、振屋温泉・新平湯温泉)					
		清流の活用と保全・水の監視 温泉(露天風呂)								
		温泉								
		省エネルギー、低炭素社会	山岳 山岳景観の保全・育成 スポーツ		7脱炭素社会の早期実現 ・地域に根差した自然エネルギー活用		世界遺産白川郷 槍ヶ岳・双六岳・笠ヶ岳・奥穂高・西穂高(剣ヶ峰3026m)・扇王岳・富士新瀧高ロープウェイ(第1,2号)運具		丹生川：飛騨大鍾乳洞	
		山岳景観の保全・育成 スポーツ								
環境	水 エネルギー 陸の大切さ 産業とインフラ	大樹汚染の防止	山麓 東大衆教宇宙船観測所 自然科学研究機構乗鞍観測所		清流釣り					
		美しい星空			奥飛騨温泉郷 平湯温泉(歴史伝統)・福地温泉(田舎・新平湯温泉、振屋温泉・新平湯温泉)					
		清流の活用と保全・水の監視 温泉(露天風呂)								
		温泉								
		省エネルギー、低炭素社会	山岳 山岳景観の保全・育成 スポーツ		7脱炭素社会の早期実現 ・地域に根差した自然エネルギー活用		世界遺産白川郷 槍ヶ岳・双六岳・笠ヶ岳・奥穂高・西穂高(剣ヶ峰3026m)・扇王岳・富士新瀧高ロープウェイ(第1,2号)運具		丹生川：飛騨大鍾乳洞	
		山岳景観の保全・育成 スポーツ								

波及効果測定に際しての前提条件の設定

SDGs未来都市の整備によって想定される観光入込客数を230万人(2018)から500万人(2024)、外国人観光客を10万人(2018)から80万人(2024)、奥飛騨温泉郷の宿泊数60万人(2019)から70万人(2024)、自然エネルギー45.597Mwh(2019)から90,000Mwh(2024)への増加などを前提とした経済効果を試算する。

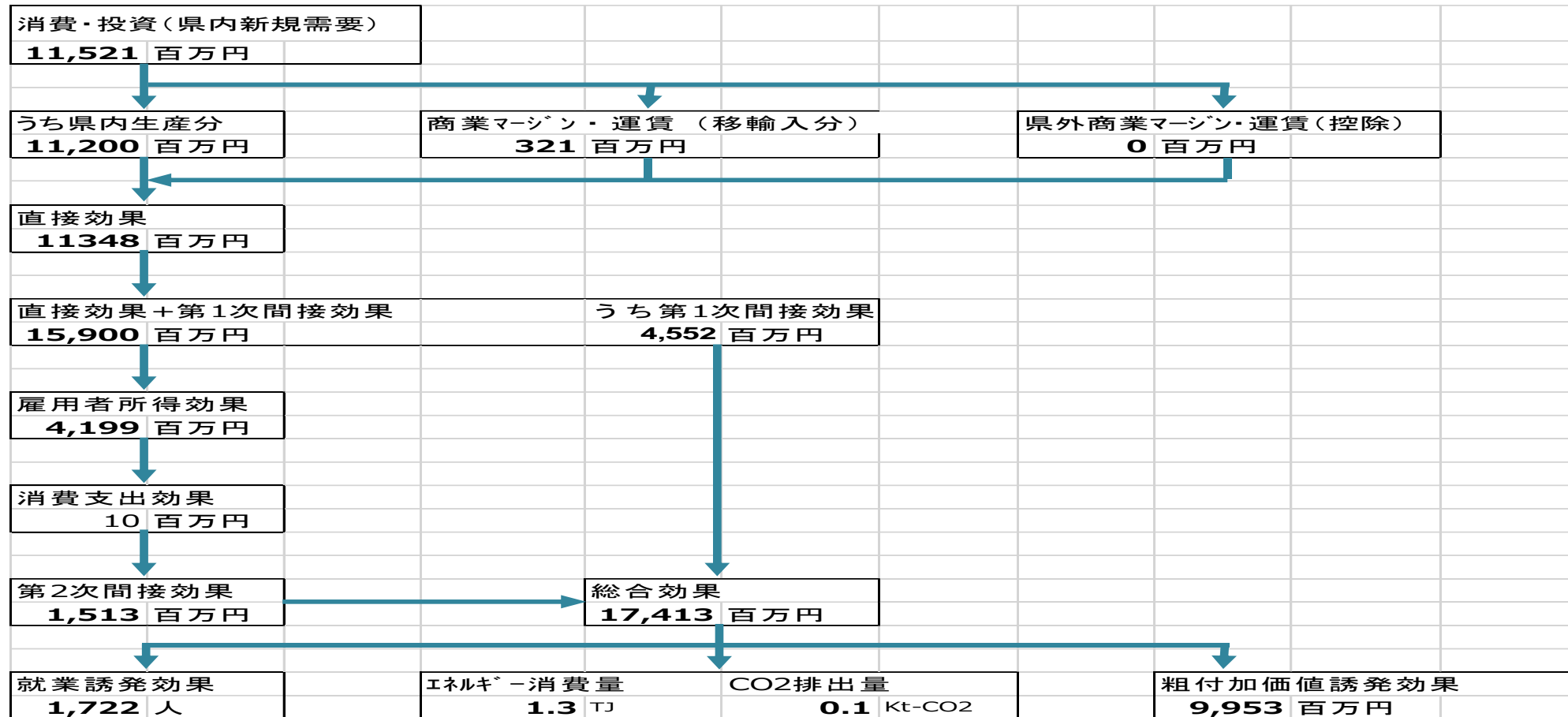
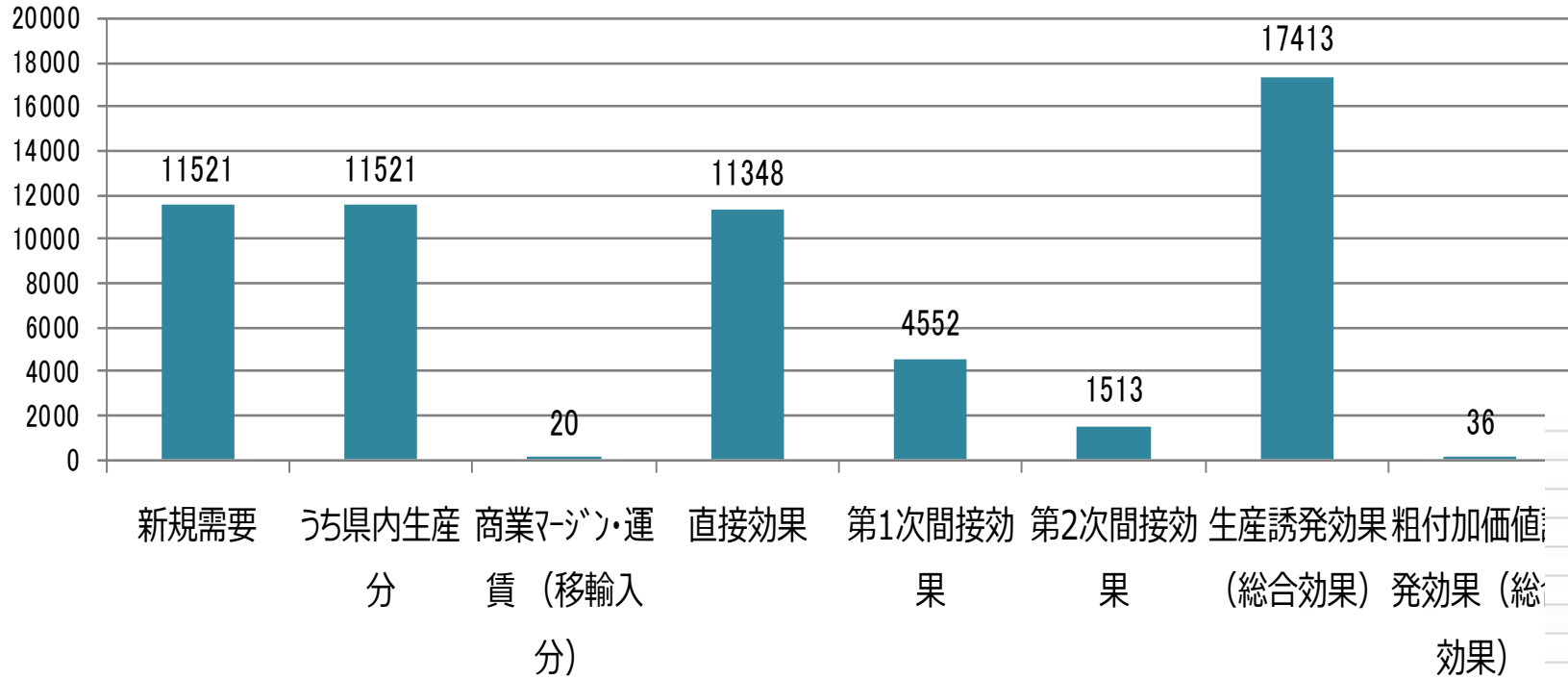


図 波及効果の測定結果(1)

標記データをもとに、簡易測定モデルをもとに計測。

波及効果測定 (2023.08)

単位:100万円



経済波及効果の内訳	単位：百万円	
	割合	金額
新規需要		11521
うち県内生産分		11521
商業マージン・運賃 (移輸入分)		20
直接効果	65.2%	11348
第1次間接効果	26.1%	4552
第2次間接効果	8.7%	1513
生産誘発効果 (総合効果)	100.0%	17413
粗付加価値誘発効果 (総合効果)		36

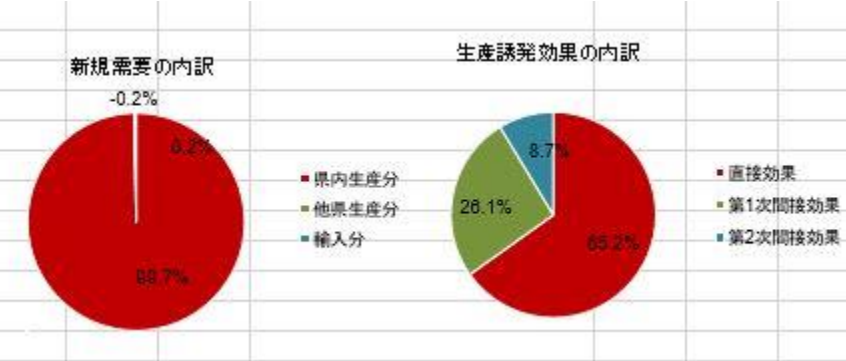


図 波及効果の測定結果(2)

作成した簡易測定システムにより上記の波及効果は**11,521百万円**(直接 + 第1次効果15,900百万円、うち1次間接効果4,552百万円)、生産誘発効果**17,413百万円** (総合効果) 就業誘発効果**1,722人**と測定された。

5.まとめ

- 新型コロナウイルスの影響により、対象地域に限らず、観光地において、大幅な集客力の減退。
- 地域におけるエネルギー循環システム、地産地消、雇用、経済的な持続の必要性。
- 住み続けるまちづくりの伝承、日本遺産構成要素の有効活用など
- Withコロナ、Afterコロナの時代を考慮した地域の活性化計画、自然環境情報のほか、体験可能なアクティビティに係る情報、主要観光資源へのアクセス情報、地域の魅力・利用情報を国内外に発信すること、地域の利用促進・周遊性の確保を図ることが必要。
- SDGs未来都市高山市の集客的なまちづくりへの波及をターゲットにおいて整備効果を簡易に計測できるプログラムの構築の検討を行った。今回の試算は施策の一部であるが今後、こうした波及の分析について明確に把握してゆくニーズは高まっていくと考えられる。

参考文献

- 1) 岐阜県環境生活部環境企画課, 岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画-活力ある乗鞍・奥飛騨地域をめざして,2014.1
- 2) 中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会, 中部山岳国立公園南部地域利用推進プログラム2020
- 3) 笹谷秀光, 「Q&A SDGs経営」, 日経BP社, 2019.10
- 4) 沖大幹, 小野田真二, その他, SDGsの基礎事業構想大学院大学出版部 2018.9
- 5) D.ピーターゼン 竹林 征雄_ 「SDGsビジネス戦略-企業と社会が共発展を遂げるための指南書、日刊工業新聞社, 2019.2